

わたしの商工会議所活用法

「共済制度」

静岡商工会議所は「会員・地域から頼りにされる会議所」をめざして、会員企業を応援しています。会議所を上手に利用されている会員の皆様から、会議所活用法をご紹介します。

「もしも」のときもこれで安心 社員が安心して働けるように、 生命共済制度を活用



すずなり
株式会社 鈴生
代表取締役
鈴木 貴博 さん
静岡市葵区下1108-8

当社は静岡本社、焼津出荷場、菊川出荷場、磐田出荷場を拠点に、レタス、枝豆を中心に野菜を生産しています。年間耕地面積は100ha（東京ドーム20個分）ほどです。国内の農業を次世代につなぐために、利益確保できる農業として確立することが重要と考え、平成20年12月に農業生産法人（株）鈴生を設立しました。

また、新規就農者などの研修生を受け入れ、次世代の担い手育成にも取り組んでおり、独立支援を通じた地域農業の活性化や耕作放棄地の解消等も行っております。

平成26年4月には、モスバーガーとの合弁会社農業生産法人（株）モスファームすずなりを磐田市に設立し、大手外食チェーンと提携してレタスの大規模栽培を手掛けています。

当社では、ICT（情報通信技術）を取り入れ、日照や気温、湿度などの気象情報や、作物の育成・収穫データなどを収集し、最適な栽培方法の確立に取り組んでいます。

商工会議所の生命共済制度には、5年程前から加入しています。幅広い保障で、業務上・業務外を問わず、役員・従業員の「もしも」や「まさか」に備えることができました。社員に安心して働いてもらえるよう、福利厚生制度として利用しています。

アクサ生命（共済制度引受幹事会社）の石川主任が



主力商品のレタス（商品名：すいーとれたす）
フルーツのような甘みが特徴



菊川出荷場チームの皆さん

定期的に来社され、加入や請求の手続きのほか、企業経営継続に欠かせない各種商品を提案してくれるので、とても助かっています。

経営理念としている「おいしさを求めて」は、種まきからお客様に届くまで全力で取り組むという思いが込められています。社名である「すずなり」には、作物も人もたくさん集まってくる会社にしたいの思いがあります。自分たちが作りたいものを作るのではなく、お客様が欲しいものをつくるということを大切にしています。

今後も、社員全員で経営理念を胸に、おいしい野菜作りをしていきたいと思っております。

会員事業所の経営強化と 福利厚生をお手伝い

商工会議所担当者から一言



望月 愛



臼井 康

総務部 会員サービス課
TEL054-253-5112

当会議所の共済制度には、生命共済のほか、従業員に将来支払う退職金を毎月計画的に積立てる特定退職金共済があります。その他にも、事業活動におけるリスクを総合的に補償するビジネス総合保険や、労災事故と賠償リスクに備える業務災害保障プランなど各種保険制度も取り扱っております。会員であれば保険料が一般に比べ最大50%程安くなるメリットがあります。従業員の健康管理を経営的な視点で捉える「健康経営」の関心が高まっております。従業員の健康の保持増進としても当所の保険制度をおすすめします。保険料のお見積り等いたしますので、お気軽にお問合せください。

また、共済制度加入事業所の皆様には、抽選で清水エスパルスホームゲームチケット（各試合2組4名様）が当たる特典もご用意しております。抽選応募は当所HPからお申込みください。